

令和5年度 行政評価の取組結果（技術監理局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）
I-2-(3)-② 技術・技能を継承する人材の育成	1	⑧ ⑨ ⑪	明日の公共事業を支える人材確保・育成事業	技術企画課	技術監理局技術企画課	建設業の若年就業者の減少により、インフラの維持管理に関する担い手不足が懸念されるなか、建設技術の魅力を発信し、公共事業への理解をより深めることで、将来にわたる建設業の人材確保・育成を図る。	建設業に対する関心度（イベント参加者アンケートによる）	97% (H27年度)	目標 80 %	実績 90 %	達成率 112.5 %	80%以上 (R1年度以降毎年度)	2,234	1,967	1,689	5,400	順調	イベント参加者アンケートの結果、回答者の88%が建設業の仕事に興味を持ったと回答。 また、建設業の現場で活躍する若者や女性の姿を紹介するWebサイトにおいても、新たな技術者を掲載するなど、建設業の魅力を継続して発信できたことから「順調」と判断。	順調	【評価理由】 建設業に対する関心度が88%であったため、「順調」と判断。 【課題】 将来にわたって建設業の人材確保・育成を行うには、一過性のものではなく、継続的で地道なイメージアップの取組が必要不可欠である。
Ⅲ-1-(3)-④ 高度情報社会への対応	2	⑨ ⑩	公共工事関係部署のDX推進事業	技術企画課	技術監理局技術企画課	「デジタル市役所」の実現に向けて、公共工事に関係する部署の発注・契約・検査等の様々な業務のデジタル化をより一層推進する。	インフラDX (i-Construction) 研修の受講者数（市内建設業及び市技術職員）	330人 (R3年度)	目標 420 人	実績 510 人	達成率 121.4 %	660人 (R7年度末)	8,198	7,200	10,001	8,900	順調	「技術研修のWeb活用率」については、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行を受け、実践的な研修を積極的に行ったことから、達成率は60%程度となった。 しかし、主要な指標である「インフラDX研修の受講者数」が令和4年度を超える700人となるなど、その他の指標では、概ね成果が認められるため、全体として「順調」と判断。	順調	【評価理由】 主要項目である「インフラDX研修の受講者数」や「オンライン会議の実施率」が目標を上回っていることから、DX推進への関心が高まっており、普及促進が認められる。よって、「順調」と判断。 【課題】 「技術研修のWeb活用率」については、対面とWebのハイブリット開催や、動画配信などの普及促進を引き続き行うとともに、技術者の能力向上に資する、より効果的な研修の実施について検討を進める必要がある。
技術研修のWeb活用率	19% (R3年度)	目標 27 %	実績 23 %	達成率 85.2 %	50% (R7年度末)															
オンライン会議の実施率（技術関係局）	19% (R3年度)	目標 32 %	実績 50 %	達成率 156.3 %	70% (R7年度末)															
テレワーク実施率（月1回以上実施）	16% (R3年度)	目標 32 %	実績 11 %	達成率 34.4 %	80% (R7年度末)															
紙の使用量（技術関係局）	1400万枚 (R2年度用品)	目標 1,200 万枚	実績 1,400 万枚	達成率 83.3 %	R2年度比50%削減 (R6年度末)	97.9 %														

令和5年度 行政評価の取組結果（技術監理局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題		
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度		R5年度		中期 目標	決算額 (千円)						予算額 (千円)	決算額 (千円)
Ⅲ-3-(3)-③ 企業の 地域活 動への 参画促 進	3	⑩	【施策評価の み】 競争入札参加 資格業者に対 する加点制度	契約 制度 課	技術 監理 局契 約制 度課	【施策の内容】 本市の物品等供 給契約や建設工 事における競争 入札参加資格に おいて、地元企 業の地域での社 会貢献活動（子 育て支援、障 害者雇用、環境 配慮、防災活動 など）を評価し 、格付けの際に 加点することよ り、契約制度の 面からも本市重 要施策の推進を 図る。	【施策の指標】 本市の物品等供 給契約入札参加 資格業者総数に 対する評価対象 事業者数の割合	目標	29	%	29	%	29% (R5年 度)	—	—	—	—	—	—	—	
								実績	29	%	32	%									
								達成率	100.0	%	110.3	%									
							【施策の指標】 本市の建設工 事入札参加資格 業者総数に 対する評価対象 事業者数の割合	目標	49	%	49	%	49% (R5年 度)								
								実績	49	%	54	%									
								達成率	100.0	%	110.2	%									
V-3-(1)-① 都市基 盤・施 設の適 正な整 備	4	⑧	公共工事安全 対策強化事業	検査 課	技術 監理 局検 査課	市が実施する公 共工事の安全対 策強化のため、 安全指導を専門 とする公共工事 パトロール隊を 設置し、事故の 抑制を図る。	工事成績評定 点の評価項目の 内、「安全対策」 について100点 満点に換算した 点数	目標	75	点 以上	75	点 以上	75点以 上 (R5年 度)	820	926	783	28,400	順調	—	—	【評価理由】 公共工事パト ロール隊の安全 指導等によって 、市が実施する 公共工事の安全 対策の強化が図 られているため 、「順調」と判断 。 【課題】 工事関係者の不 注意や確認不足 などを原因とし る労働災害や公 衆災害は未だ発 生しており、事 業者への指導に 加え、工事に従 事する一人ひと りの安全意識の 更なる向上を図 る必要がある。
								実績	73.6	点	73.8	点									
								達成率	98.1	%	98.4	%									
VI-3-(3)-② 建設リ サイクル の推進	5	⑨ ⑫	【施策評価の み】 建設リサイク ルの推進	技術 支援 課	技術 監理 局技 術支 援課	【施策の内容】 北九州市発注の 公共工事を対象 に、建設副産物の 発生抑制や建設 廃棄物の再資源 化の徹底、再資 源化された建設 リサイクル資材 の利用促進に取 り組む。	【施策の指標】 建設廃棄物の再 資源化率	目標	98	%	98	%	98% (毎年 度)	—	—	—	—	—	—	—	【評価理由】 令和4年度に引 き続き令和5年 度も目標を達成 したため、「順 調」と判断。
								実績	99.5	%	99.3	%									
								達成率	101.5	%	101.3	%									